



一般質問

祝 優雄 議員

行政責任を問う



所は確保する必要がある。何でも削減、削減では市民の安全安心の確保ができない。自治体が果たさなければならぬ最低限の責任とはインフラの確保である。

【質問】 クリーンセンター統合について6月議会の部長答弁に佐渡クリーンセンター1か所に集約する趣旨の答弁が議会報に掲載されている。部長答弁の本旨と、このことについて市長は承知しているのか。

【市長】 可燃ゴミが1万8000トン以内になった場合、施設の処理能力として佐渡クリーンセンターの

能力で処理できるとの議論と理解している。しかし、災害時などのことを考えると、両津クリーンセンターを現段階で廃止できるとは考えていない。現在分別が進んでおり1万トンになると逆に、両津クリーンセンターの能力で処理できることもなる。

【質問】 クリーンセンターの統合について、災害など緊急事態に搬送できないことなどを想定すると最低2か

【市民環境部長】 基本方針では可燃ゴミの年間1万9000トンを割り込んだ段階で1か所にできるか検討するとしているが、両津クリーンセンターでは市民の皆さんや企業の持込み量も多く、し尿汚泥も焼却しており、これらの問題を解決しないと、両津クリーンセンターの廃止はできない。もう1点は、災害時なども考慮し、まず、経費を削減しながら今後のことを検討していきたい。



佐渡クリーンセンター



両津クリーンセンター



一般質問

根岸 勇雄 議員

佐渡総合病院移転新築工事は分離発注に



【質問】 佐渡市は佐渡総合病院移転新築に30億円の財政負担をする訳だが県からの支援はその後どうなったのか。

【市長】 議長、副議長、市長、両県会議員が交渉したが前向きな回答は得られていない。

【質問】 病院本体工事と看護学校棟の分離発注について。

【市長】 病院本体は10月入札、11月着工の予定。看護学校は平成22年度着工で分離発注の予定と聞いている。

【質問】 佐渡市経済対策事業について。特に安全・安心のまちづくり事業の進捗率は。

【市長】 全箇所数は約350か所で全体の約70%の進捗率である。残りの工事については、11月末までにすべて発注をしたい。

【質問】 学校施設耐震補強事業について。

【教育次長】 耐震補強工事は8月21日に小中学校7校すべてについて補強設計業務

【質問】 予定。

【市長】 事前、事後公表どちらもメリット、デメリットがあるが、事前公表においては公表価格が目安となり適正な

【市長】 事前、事後公表どちらもメリット、デメリットがあるが、事前公表においては公表価格が目安となり適正な

【市長】 事前、事後公表どちらもメリット、デメリットがあるが、事前公表においては公表価格が目安となり適正な



佐渡総合病院完成予想図

競争が行われていない。県などの指導も事前公表から事後公表への移行を勧められており、佐渡市も公共工事入札契約事務監視委員会での協議と検討を重ねている。



一般質問

松本 正勝 議員

屋上屋を架している部長 制度を廃止して組織改革を



【質問】 部長制は屋上屋を架している組織であり、迅速な行政運営、住民サービスに支障をきたし、その存在理由がわからないと市民から批判の声があがっているが、度重なる市職員の不祥事でその声はより強まっている。議会の「行財政改革特別委員会」からも、現行の部制を廃止し、早急に課制への変更を強く求められているが、新年度は「廃止か存続か」市長の考えを問う。

【市長】 現在、各部長が各課を掌握できる能力を着々とつけており、新年度はこのまま続ける。どうしても形だけでもない方が良いというのであれば、それには対外的に了解をとっていかなければならぬ面もある。

【質問】 市から巨額の補助金が支払われている佐渡観光協会は、事務所移転を目的として佐渡島開発総合センターの改修工事が行われたが、市民の間から税金のムダ使いではないかとの指摘もある。予算書で固定資産取得費として1000万円が計上されているが、実際の工事金額及び改修工事を伴う移転目的や理由を問う。

産業観光部長

仕事量の増加により、汽船ターミナル内の事務所が手狭になったことや観光協会と市観光課が一体となつて事業に取組むために必要なスペースを確保するための工事であり、協会の企画部門が移転した。

観光課長

工事金額として見積り上、約600万円となっている。

【質問】 週3回だった可燃ゴミ（生ゴミ）の収集が4月から2回になったことにより、市街地で夏場、気温の上昇に伴い悪臭やカラス、ハエ等の飛来による環境汚染が発生し、市民はもとより帰省客や観光客に不快感を与えている。その対策を来年度に向けて取るべきと思うが見解を問う。

市民環境部長

これからのゴミ収集のあり方について市民の皆様アンケート調査を実施し、その意見を聞きながら来年度に向けた方向性を出したい。



集積所にあふれる金曜日のゴミ（両津地区市街地にて）



一般質問

田中 文夫 議員

御用心、 新型インフルエンザ



【質問】 本市における罹患の現状と見込まれる罹患患者数とその内推定死亡者数は。

【質問】 市民から職員の仕事ぶりへの不満が聞かされる。

福祉保健部長

集団感染について報告を受け、発表し、合併によって、にわかに職能が低下したわけでもあるまいに、何が職員を駄目になっているのか。どうしたら

人、次の週は中学校で2人、高校で7人、24日以降は、中学1人、高校3人、合計15人。厚生労働省の注意推計によれば、20%の場合、感染予想者数は約1万3000人、入院者は974人（1.5%）、重症者は97人（0.15%）。30%の場合は1万9490人、入院はその2.5%、重症化は0.5%。（9月1日現在）

【質問】 対応策と具体的な方法と手順は

【総務部長】 対策本部を設置して、この間7回会議を行っている。直近では9月1日に「秋以降に向けての市

【質問】 目的外使用のあり方について。

【質問】 市保有施設の適正配置と民間とのバランスあるいは民活との折り合いについて。

【総務部長】 公共施設の見直し指針に基づいて判断している。①市が運営主体となる必要があるか②民間活

【質問】 温泉はどうするのか。

【市長】 一定の条件下で残すところも必要ではないか。今までの議論ではここをやるべきか全部やめてくれという地元意見が強かった。厳しいが、適正配置を行い最小限残すことを検討したい。

【質問】 目的外使用のあり方について。

【総務部長】 取組まねばならぬと準備している。できれば本年度中にやりたい。

【質問】 目的外使用のあり方について。

【質問】 目的外使用のあり方について。

一般質問

村川 四郎 議員

市の将来ビジョンは 真実性に欠ける



景観計画から

【質問】 検討中の景観計画は実効性のない「絵に描いた餅」の消化ゲームだ。景観維持にはハード（建築物）

【質問】 佐渡市将来ビジョン策定の背景と目的は何か。ビジョンの数値内容が非常に懐疑的だが数字の正確さへの責任を担保できるのか。特に交付税の根拠は何か。またビジョンは民主党政権となつて変わるのか。

【市長】 興が不可欠。市の1次・2次産業振興策に6次産業への具体的支援策が必要である。6次産業おこしへの支援策を示せ。

【市長】 人口減、交付税減となる10～20年先を見越した経済戦略が重要であり、産学連携の体制作りの中で6次産業へのチャレンジを確実に進めていく。

【質問】 ビジョンに沿って総合計画や行政改革大綱を連動させたい。今後タウンミーティング等で市民に示し、12月の最終まとめに向けて調整する。民主党政権で地方政策や交付税面で変わる可能性もあり情報収集に努めたい。

【市長】 最近の交付税の動向が横ばい又は増加傾向と判断し、年マイナス1%で計算している。

【市長】 大学や姉妹都市との交流を進めると共に準市民制度を利用して、島暮らし佐渡体験旅行などにも力を入れていく。

成長力強化戦略について

【質問】 これからの地方の経済活性化には※6次産業振



この子達の将来に責任あるビジョンを（小木祭り）

一般質問

小田 純一 議員

住民福祉と 公共サービス



【質問】 地方自治法にある住民の福祉増進とその利用を目的とした公共サービス分野に、市場原理と効率化至上主義が持ち込まれ、歳出削減と安さが優先されたことで、公共サービスの質の低下や官製ワーキングプア

【市長】 良質で健全なサービス提供は行政の役割である。今後の財政もあり「民間でできるものは民間で」を基本方針としている。法の趣旨にのっとり市民の立場に立った施策を講ずるよう取り組む。

【市長】 5月参議院において「公共サービス基本法」が可決された。民間委託の要件として、サービスの質の確保、賃金・労働時間・雇用形態等適正な雇用水準確保を重視すべきではないか。基本条例の制定や、業者選定に際して法の精神を生かす考えはあるか。

地域密着型サービスの 拡充を

【質問】 特養・老健等の施設不足、施設利用料の高額化等の要因から解消されない入所待機者の家族負担の軽減策として、

1. 既存施設を活用した富山型（高齢者・障がい者・乳幼児を同一空間でケア）小規模多機能サービスの推進と運営費補助等担い手の育成。

2. 下駄ばきヘルパー方式の検討。

3. 重度の家族介護者へ市の

単独の介護手当の支給等複数施策の推進を。

【市長】 富山型は佐渡でも多くのNPOが取組めるような環境づくりをやりたい。在宅家族の負担を少しでも軽減できるような支援策を前提に進める。

【福祉保健部長】 1. 富山型については佐渡市にどう当てはめるかを検討する。

2. 下駄ばきヘルパーは福祉を含む総合政策として考えたい。

3. 在宅介護支援策として介護用品の支援制度の見直しを検討する。

公共交通システムについて

【質問】 南部3路線の社会実験について対象地区の住民意見の反映を。また高齢者割引チケットの販売窓口増設を。

企画財政部長 増設を検討する。

交通政策課長 前向きに取組みたい。



3. 重度の家族介護者へ市

の検討。

2. 下駄ばきヘルパー方式

等担い手の育成。

ビスの推進と運営費補助

増設を検討

する。

企画財政部長

増設を検討

する。

交通政策課長

前向きに取

組みたい。

一般質問

金光 英晴 議員

地産地消と地域
経済活性化について

【質問】当初予算の農産物の生産拡大事業について問う。

【市長】平成20年8月に佐渡

【市長】農産物の生産拡大と

地産地消推進のため今議会に条例を上程した。具体的

には推進計画に盛り込んで実施する。

【産業観光部長】

地産地消への園芸作物実証事業に9人

の方が参加し、栽培面積61

【質問】流通システムへの取り組みと現状について。

【産業観光部長】佐渡産杉材の利用は、主に市発注の市営住宅への利用を進めている。

【市長】幅広いネットワークを有するJAや市場と検討を進めている。

林業振興について

【質問】佐渡産材の利用状況と流通システムへの取り組み、森林の整備と※カーボンオフセットへの現状と取り組みについて問う。



※カーボンオフセット…二酸化炭素などの温室効果ガスを直接的、間接的に吸収しようとする考え方や活動のこと。

行財政改革について

【質問】現在の市の組織と人事に問題が多い。即、部長制を廃止して課長制に戻せない理由は何か。4月の人事異動で部長から係まで全

員交代した部署があるのはなぜか。

【市長】多様な行政サービスへの対応が可能な簡素で効率的な組織への再編に向けて対応していく。

【総務部長】全員交代の部署があったことを反省し、今後は職務のどこおりがないように異動を行う。

【質問】指定管理者制度の施設で、入浴施設・宿泊施設についての市長答弁の真意を問う。

【市長】平成21年度で指定管理期間が終わる施設に関しては、常任委員会と協議を重ねて市の方針を決定する。また個々の施設によって状況、背景等が異なるので各常任委員会で問題点をあぶりだしていただき対応していく。

一般質問

大桃 一浩 議員

住民サービスの低下と
職員のやる気について

【質問】エコアイランドの取り組みが表面だけのPRに終始している。住民に理解いただき、住民が実際に得をしたと感じる施策を打つべきである。そのための職員

【市長】合併後、住民サービスの低下している。痛みは住民だけに押し付けるつもり

なき、住民が実際に得をしたと感じる施策を打つべきである。そのための職員

対応するののか。

【市長】エコアイランド構想を進め、住民が真に取り組む。指摘の点については、十分に協議し住民の皆様が市側から提案できていない状況である。また、それを勉強し市民生活にフィードバックできるように職員の育成をしなければいけないと考えている。

【質問】合併後、住民サービスの低下があらちこで顕在化している。住民サービスの平準化との名の元、低い所への平準化、大きな劣化が起きている。その過程で市側からの工夫もなければ、職員自らが骨身を切ろうと

る。これを修繕するには1億3000万円の予算が必要と試算されているが、文化遺産登録を進めてもいるのでどのような措置ができるのか、今後十分に検討をしたい。

【質問】佐渡市民は佐渡空港早期2000m化を望んでいる。県の委員会での佐渡市のやる気に対する指摘などは自らの職責を忘れたとんでもない発言である。地権者との交渉を一方的に丸投げし、その上すべてのことを佐渡市に投げるのか、県民である佐渡市民をどう考えているのか見解を問う。

【市長】地権者交渉は大詰めを迎えており、今後も地権者交渉は佐渡市が先頭に立ち進めていく。県の対応も知事と綿密な連絡を取りながら進め、どの方法が近道なのか議論していきたい。

【市長】現在の拘置所跡の状況は雨漏り、天井の崩落など大変な状況であ

